



別寒辺牛川下流域における イトウの生息範囲の推定

津田 裕一¹・宮下 和士²*



1.北海道大学大学院水産科学院 海洋資源計測学講座・
u1tsuda@fish.hokudai.ac.jp

2.北海道大学北方圏フィールド科学センター 生態変動系解析分野

イトウは、「汽水・淡水魚類に関する新しいレッドリスト」において、「絶滅危惧IB」として記載され、絶滅が憂慮されています。しかし、本種の唯一の安定した個体群である厚岸町を流れる別寒辺牛川水系群でも、生態学的な研究が少なく、生態だけでなく生息範囲さえ分かっていません。イトウの効果的な保護施策を講じる上で、イトウがどの程度の河川流域を利用しているか？を明らかにすることは重要となります。

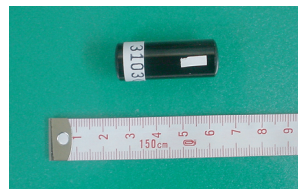
そこで、
「産卵後に降下したイトウが摂餌・成長のためにどの位の流域範囲を生息域としているか？」を明らかにする調査を行っています。



テレメトリーによる移動情報の取得
発信器を装着したイトウが受信機の
近くを通過すると受信機に通過時間
と識別番号が記録されます



超音波受信機 VR2



超音波発信器 V13-1L
(長さ3.6cm、重さ6g)

イトウに関する情報またはご質問等が
有りましたら下記にご連絡ください。

【問い合わせ先】

北海道大学大学院水産科学院
海洋資源計測学講座
津田 裕一

tel:0138-40-8839

e-mail:u1tsuda@fish.hokudai.ac.jp

本研究は、厚岸町より「厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励助成」を受け実施しています。